ロ) 麦類 (小麦・大麦 (秋播))

(イ) 茎葉処理剤 (耕起前/播種前、ほ場周縁部)

除草剤名	有効成分名	使用回数		RAC コード	区分	使用時期	10aあたり使用量 (散布液量)	使用方法	備考
		本剤	成分						
						耕起前又は播種前まで (雑草生育期)	500mL (通常散布50~100L 少量散布25~50L)	雑草茎葉散布	・少量散布の場合は、専用ノズルを使用して均一に散布する。
ラウンドアップマックス ロード	グリホサートカ リウム塩	3□	3	H:9	麦類	播種後出芽前 (雑草生育期)	200~500mL (通常散布50~100L 少量散布25~50L)		
						収穫前日まで (雑草生育期)	500mL (通常散布50~100L 少量散布5~50L)	雑草茎葉散布 (適用場所：ほ場内 の周縁部)	・麦類に飛散しないように散布に注意する。 ・少量散布の場合は、専用ノズルを使用して均一に散布する。

(ロ) 土壌処理剤 (主に麦類播種後出芽前 イネ科・広葉雑草)

除草剤名	有効成分名	使用回数		RAC コード	区分	使用時期	10a当たり使用量 (散布液量)	使用方法	備考
		本剤	成分						
ガレースG	ジフルフェニカ ン/トリフルラ リン	1	1/2	H:12/3	小麦 (秋播 栽培)	播種後発芽前 (雑草発生前) 小麦1~2葉期 (雑草発生前~発生始期)	4~5kg	全面土壌散布	<ul style="list-style-type: none"> ・適用土壌は、砂土を除く全土壌。 ・水田裏作の麦類に使用する場合、過湿状態での使用は避ける。 ・秋播き麦類に使用する場合、土壌残効がながいので年内に散布を終える。 ・まれに麦の葉身に白化を生じるが、その後の生育・収量に影響はない。
					大麦 (秋播 栽培)	播種後発芽前 (雑草発生前) 大麦1~2葉期 (雑草発生前~発生始期)			
ガレース乳剤					小麦 大麦 (秋播 栽培)	播種後出芽前 (雑草発生前)	200~250mL (100L)		
ボクサー	プロスルホカル ブ	2	2	H:15	小麦	秋播栽培の播種後~麦2葉 期 (雑草発生前~発生始期)	400~500mL (50~100L)	雑草茎葉散布又は 全面土壌散布	<ul style="list-style-type: none"> ・ネズミムギに比較的効果が高い ・砂土での使用は避ける。 ・ノミノフスマにやや効果が劣る。
					大麦	秋播栽培の播種後~麦2葉 期 (雑草発生前~発生始期)	400~500mL (70~100L)		
ムギレンジャー乳剤	プロスルホカル ブ/リニュロン	1	2/1	H:15/5	小麦 大麦	播種後出芽前 (雑草発生期)	300~600mL (通常散布50~100L 少量散布25~50L)	全面土壌散布	<ul style="list-style-type: none"> ・適用土壌は、砂土を除く全土壌。 ・少量散布の場合は、専用ノズルを使用して均一に散布する。
リベレーターG	ジフルフェニカ ン/フルフェナ セット	1	1/1	H:12/15	小麦 (秋播 栽培)、 大麦 (秋播 栽培)	播種後~麦2葉期 (雑草発生前~イネ科雑草 1葉期まで)	4~5kg	全面土壌散布	<ul style="list-style-type: none"> ・ネズミムギには、発生始期までに散布する。 ・適用土壌は、砂土を除く全土壌。
リベレーターフロアブル					小麦 大麦 (秋播 栽培)	播種後~麦3葉期 (雑草発生前~イネ科雑草 1葉期まで)	60~80mL (100L)	雑草茎葉散布又は 全面土壌散布	

(ロ) 土壌処理剤 (主に麦類播種後出芽前_主にイネ科雑草)

除草剤名	有効成分名	使用回数		RAC コード	区分	使用時期	10aあたり使用量 (散布液量)	使用方法	備考
		本剤	成分						
ゴーゴーサン細粒剤F					麦類	播種後出芽前 (雑草発生前)	5~6kg	全面土壌散布	・適用土壌は、砂壤土~埴土。 ・土壌条件により異なるが、一般に効果の持続期間が45~60日と長い。
ゴーゴーサン乳剤	ペンディメタリン	1	1	H:3	麦類 (小麦を除く)	播種後出芽前 (雑草発生前)	300~500mL (70~150L)		
					小麦	播種後(雑草発生前)~小麦2葉期(イネ科雑草1葉期まで)	300~500mL (70~100L)		
クロロIPC乳剤	IPC	1	1	H:23	麦類	播種直後又は2~3葉期	100~150mL (70~100L)	全面土壌散布	・砂質土場では使用を控える。 ・生長した雑草には、ほとんど効果がみられない。 ・土壌処理の除草効果は低温時に高く、適用雑草の中でもタデ類に優れた効果がある。 ・気温が20℃以下の時に使用する。
シナジオ乳剤	トリフルラリン /IPC	1	2/1	H:3/23	小麦 大麦	播種後出芽前 (雑草発生前)	300~400mL (100L)	全面土壌散布	・適用土壌は、砂土を除く全土壌。 ・適用雑草は、一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科雑草を除く)。
トレファノサイド乳剤					小麦 麦類 (小麦を除く)	は種後出芽前~生育期(雑草発生前~雑草発生始期)但し、収穫45日前まで	200~300mL (100L)	全面土壌散布	・適用土壌は、砂壤土~埴土。 ・適用雑草は、一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)。 ・麦類(小麦を除く)、小麦での登録。
	トリフルラリン	2	2	H:3					
トレファノサイド粒剤2.5					麦類	は種後出芽前~3葉期(雑草発生前~雑草発生始期)生育期(雑草発生前)ただし、収穫45日前まで	4~5kg		・適用土壌は、砂壤土~埴土。 ・適用雑草は、一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)(播種後出芽前処理のみ)。

(ロ) 土壌処理剤 (主に麦類播種後出芽前_主に広葉雑草)

除草剤名	有効成分名	使用回数		RAC コード	区分	使用時期	10aあたり使用量 (散布液量)	使用方法	備考
		本剤	成分						
ロロックス					麦類 (秋播)	播種後~発芽前 (雑草発生前~発生始期)	100~200g (70~150L)	全面土壌散布	・砂質土での使用は避ける。 ・広葉雑草の優先するほ場で使用する。 ・本剤散布後4か月以内は他の作物を作付けしない。
ロロックス粒剤	リニュロン	1	1	H:5	小麦 (秋播栽培)	播種後~発芽前 (雑草発生前)	6kg		

(ハ) 茎葉県土壌処理剤 (播種後～麦類生育期)

除草剤名	有効成分名	使用回数		RAC コード	区分	使用時期	10a当たり使用量 (散布液量)	使用方法	備考
		本剤	成分						
ハーモニーDF	チフェンスルフ ロンメチル	1	1	H:2	小麦	播種後～節間伸長前 節間伸長開始期～穂ばらみ 期 ただし、収穫45日前まで	5～10g (50～100L) 3～10g (50～100L)	雑草茎葉散布又は 全面散布	・適用雑草は、一年生広葉雑草、スズメノテッポウ。 ・スズメノテッポウには、雑草5葉期までに散布する。
					大麦	播種後～節間伸長前	5～10g (100L)		
ハーモニー細粒剤F	チフェンスルフ ロンメチル	1	1	H:2	小麦 大麦	播種後～麦3葉期 (雑草発生前～発生始期)	4～5kg	全面土壌散布	・適用土壌は、砂土を除く全土壌。 ・適用雑草は、一年生広葉雑草、スズメノテッポウ。

(二) 茎葉処理剤 (麦類生育期)

除草剤名	有効成分名	使用回数		RAC コード	区分	使用時期	10a当たり使用量 (散布液量)	使用方法	備考
		本剤	成分						
MCPソーダ塩	MCPAナトリ ウム塩	1	1	H:4	麦類	幼穂形成期 ただし、収穫45日前まで	200～300g (70～100L)	雑草茎葉散布	
アクチノールB乳剤	アイオキシニル	2	2	H:6	麦類	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	100～200mL (70～100L)	雑草茎葉散布	・適用雑草は、畑地一年生広葉雑草。コニシキソウには効 果が劣る。 ・広葉雑草については、発生揃期～6葉期 (ヤエムグラは4 葉期) までに散布する。
エコパートフロアブル	ピラフルフェン エチル	2	2	H:14	小麦 (秋 播) 大麦	小麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期 ヤエムグラ2～6節期) ただし、収穫45日前まで 大麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期) ただし、収穫45日前まで	50～100mL (100L)	雑草茎葉散布	